

■アクションプランのロードマップ

各アクションプランのロードマップを示すと次のようになります。

| | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|--------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| アクション1：集住型移住支援プラン | | | | | |
| 民間企業との交渉・調整 | → | | | | |
| 集住型移住支援住宅の整備 | | | → | | |
| アクション2：空き家等活用型移住支援プラン | | | | | |
| 空き家の活用支援 | → | | | | |
| 公的施設の有効活用 | → | | | | |
| 社宅等の活用支援 | → | | | | |
| リノベーション事業 | | → | | | |
| お試し移住用住宅事業 | → | | | | |
| 広域連携施策の拡充 | → | | | | |
| アクション3：ものづくり・学びの拠点整備プラン | | | | | |
| 設計・改修・開業準備 | → | | | | |
| 拠点オープン | | | → | | |
| アクション4：人生100年わくわくプラン | | | | | |
| 学びの支援 | → | | | | |
| チャレンジの支援 | → | | | | |
| 仲間づくりの支援 | → | | | | |
| 健康づくりの支援 | → | | | | |

■推進体制

本プランの進捗管理等については、引き続き「新居浜市企業城下町版生涯活躍のまち推進協議会」において行うとともに、個別の事業実施にあたっては、関係する事業者・団体等の参画による新たな組織を設置することにより、連携方策や進捗管理（内部評価）を行います。特に、庁内各部署にまたがる取り組みについては、庁内横断的な組織連携体制を構築し、推進していきます。

なお、事業の評価（外部評価）については、事業の実施方法等によって、評価組織のあり方も変わるため、実施方法が決まった段階で評価組織を設けることとします。

～あかがねライフ 人生100年時代へのチャレンジ～
まち・ひと・しごとを再創造するまちづくり

R C C 新居浜

(Re・Create・Community・Niihama)

アクションプラン【概要版】(案)

～人生100年時代を応援する～

人生100年時代を迎える中で、人生のあらゆるステージ（段階）において、“わくわく”しながら暮らせること、幸せを感じながら暮らせることが、生涯活躍のまちを実現する上で重要な要素となります。この考え方を具体的なアクションに落とし込むため、RCC新居浜アクションプラン（以下、「プラン」という。）の基本コンセプトを『わくわく続く 人生100年』と設定します。

さらに、人生100年時代を“わくわく”しながら暮らすためには、生計や住まいなど「暮らしの基盤」を土台として、「健康を保つ」「やりたいことにチャレンジする」「好奇心・向上心を満たす」「人との関わりを持つ」の4つの要素を満たしていくことが重要であると考えます。

そのため、本プランにおいては、この4つを「わくわく4要素」と位置付けて、これらの要素に対応した個別具体的な事業を提案していきます。

わくわく続く 人生100年



RCC新居浜アクションプランの展開

事業推進に向けたRCC新居浜アクションプランへ

基本構想では、本市における生涯活躍のまちの実現に向けた基本理念や取組方針等とともに、「集住型移住支援プラン」を打ち出しました。本プランでは、これに「空き家等活用型移住支援プラン」を新たに加え、移住希望者の選択肢を増やしなが、事業を段階的、かつスピード感を持って推進していくことを目指します。

また、取組方針1～3の第一歩として、「ものづくり・学びの拠点整備プラン」に着手し、取組方針4「市民・地域に還元する」ことにつなげる形を明確にしました。

さらに、3つのアクションプラン（「集住型移住支援プラン」「空き家等活用型移住支援プラン」「ものづくり・学びの拠点整備プラン」）のソフト・サービスを充実させるため、「人生100年わくわく支援プラン」に取り組むことにより、ハードとソフトの両面でRCC新居浜の実現化を目指していきます。

アクション1：集住型移住支援プラン

基本構想では、集住型住宅整備による移住希望者向け住宅と附帯施設をセットにした「集住型移住支援プラン」を打ち出しました。これを実現するための事業用地の確保に向けて、引き続き、民間企業との交渉・調整を行ってまいります。

アクション2：空き家等活用型移住支援プラン

よりスピーディに事業を推進するための取り組みとして、全国的な課題となっている空き家や空き社宅等に着目し、既存ストックを活用した移住支援を行います。

また、現在行っているお試し移住用住宅や各種プロモーション活動を拡充するとともに、県内の他自治体等との連携により、これまで進めてきた移住支援施策のさらなる魅力向上を図り、本市の移住支援制度を全国にアピールしていきます。

- ① 空き家の活用の拡充
- ② 社宅等の活用の拡充
- ③ 地域の魅力を高めるリノベーション事業の推進
- ④ お試し移住用住宅等を活用したプロモーション活動
- ⑤ 広域連携による移住支援施策の拡充

アクション3：ものづくり・学びの拠点整備プラン

4つの取組方針である「企業城下町としての資源を活かす」「チャレンジする人を応援する」「官民連携で推進する」「市民・地域に還元する」ことへの取り組みの第一歩として、平成29年度末に閉校予定の若宮小学校施設を活用し、新居浜の強みである「ものづくり」を活かした「わくわく続く人生100年」を具体化するための「ものづくり・学びの拠点」整備を目指します。

ものづくり・学び拠点の各フロアイメージ



アクション4：人生100年わくわく支援プラン

上記の多様なハード整備に加え、企業城下町や歴史・文化等の地域資源（施設、人材、関係機関等）を活用したソフト事業に取り組みます。

また、本プランに掲げる「わくわく4要素」を踏まえ、現在既に取り組んでいる起業支援や環境整備などに加え、「学び」「チャレンジ」「仲間づくり」「健康づくり」を支援するための事業を展開します。

- ① 新たな学びの支援
- ② チャレンジの支援
- ③ 仲間づくりの支援
- ④ 健康づくりの支援

